

摂津市地球温暖化対策地域計画 骨子案

第 1 章 計画の基本的事項

●計画策定の背景

地球温暖化の現状

- ・ 21 世紀末の世界の平均地上気温が 2.6～4.8℃上昇すると予測 (IPCC「第 5 次評価報告書」より)
- ・ 気候変動の顕在化

社会情勢の変化

- ・ 地球温暖化対策の新たな枠組みであるパリ協定の発効 (2016 年)
- ・ 持続可能な社会の実現のために取り組むべき国際的な枠組み「SDGs (持続可能な開発目標)」の採択
- ・ パリ協定を踏まえた国の新たな削減目標、地球温暖化対策計画の決定
- ・ 気候変動適応法の制定及び気候変動適応計画の閣議決定

●計画の目的

- ・ 市の現状と地域特性を踏まえ、市民・市民団体・事業者・市が、各々の役割に応じた取組を総合的かつ計画的に推進していくことで、市域から排出される温室効果ガスを削減する

●計画期間

- ・ 2021 年度から 2030 年度まで (10 年間)

第 2 章 摂津市の概況

●自然環境特性

- ・ 大阪の平均気温は上昇傾向であり、摂津市も同様
- ・ 市街地が全体の約 65%を占める
- ・ 洪水に悩まされてきた地域で、淀川だけでなく安威川や大正川、山田川においても河川改修が重ねられてきた

●社会的特性

- ・ 人口総数は、1990 年をピークにやや減少傾向にあったが、近年は微増傾向にある。2019 年度は約 86,000 人。
- ・ 昼間の人口が夜間の人口を上回っており、府内では、摂津市の比率は大阪市に次ぐ 2 位です。
- ・ 従業者数の割合をみると、第 3 次産業が約 65%占めており。その内、運輸業が約 3 割、卸売・小売業が 2.5 割を占めている。

●アンケート調査

- ・ 市民アンケート回収率 34.7% (693/2,000 通)
- ・ 事業者アンケート回収率 36.0% (72/200 通)

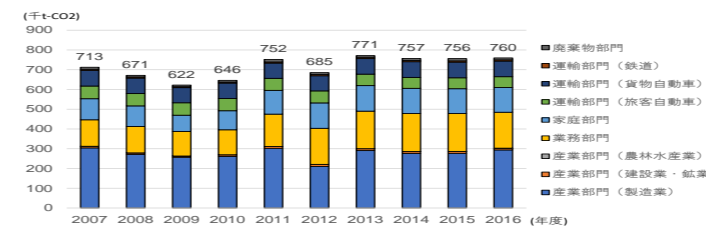
第 3 章 摂津市の温室効果ガス排出量の現状と将来動向

●対象とする温室効果ガス

「地方公共団体実行計画 (区域施策編) 策定・実施マニュアル」および、現行計画との連続性を確保する観点から、現行計画と同様に、二酸化炭素のみを対象とする。

●CO2 排出量の現状

市内の温室効果ガス排出量は、平成 25 (2013) 年度以降減少傾向だが、平成 28 (2016) 年に微増。



●CO2 排出量の将来動向

現状趨勢 (今後追加的な対策を見込まない場合)

現状以上の対策を実施しない場合の 2030 年度の排出量を推計⇒基準年度 (2013 年度) 比で 2.7%増加

今後の対策

国の対策による電力排出係数の低下、国と市が連携して省エネ対策を行った場合の削減量を推計

第 4 章 地球温暖化防止のための取り組み

●削減目標

国や大阪府の目標水準を考慮しつつ、2030 年度における削減目標を設定

●施策体系 (案)

次回委員会にて協議・検討	省エネルギーの推進	省エネ型建築物・設備の普及	(例) ゼロエネルギー型の住宅・事務所の普及、高効率機器の導入促進、次世代自動車の導入促進
	再生可能エネルギー等の利用拡大	再生可能エネルギー等の導入促進	(例) 環境家計簿の活用促進、HEMS・BEMS等によるエネルギー管理の促進、カーボンオフセットの活用
	低炭素まちづくりの推進	再生可能エネルギー等に関連した産業の育成	(例) 公共施設への太陽光発電の導入、再生可能エネルギーの補助制度の創設、新たなエネルギーの利活用検討
	循環型社会の構築※次期一廃計画と整合を図る	低炭素型都市づくりの推進	(例) 環境・エネルギー企業の誘致・流出防止、事業所間の交流・連携の促進、人材育成や企業の支援
		低炭素型交通・物流対策の推進	(例) 緑化活動の支援、道路ネットワークの再構築と整備、快適な生活道路の整備
		「4R」の取り組み推進	(例) バス路線網の向上、自転車駐車場の整備、新たなモビリティサービスの導入促進
	ごみ収集や処理の適正化	(例) 4R「リフューズ」「リデュース」「リユース」「リサイクル」の実施	
			(例) 適正かつ効率的なごみの収集・処理

第 5 章 気候変動に対する適応策

●本市が取り組む分野

国の影響評価結果や市の地域特性、アンケート結果を踏まえ、市が取り組む分野を選定→農業、水資源、自然災害、健康、都市生活

●施策体系 (案) 次回委員会にて協議・検討

農業	(例) 病害虫発生予防のための情報発信、鳥飼なすの保存奨励、雨水施設の整備
水資源	(例) 水質管理体制の強化、複数水源の維持、渇水時の危機管理体制の強化
自然災害	(例) ハザードマップ活用の広報、計画的な河川改修の実施、河川防災ステーションの整備促進
健康	(例) 熱中症への注意喚起、ミスト装置の設置、学校施設への冷房設備の設置
都市生活	(例) 透水性舗装の推進、市街地緑化の推進、民間施設の避難所指定の促進

第 6 章 計画の推進

- ・ 「参考指標」として温室効果ガス排出量と併せて把握し、施策の進捗状況等を点検し、「摂津市の環境」にて公表。